



◎高山市小・中学校教育の方針と重点

【方針】 郷土高山に根ざし、未来を切り拓くための資質・能力を育む

【重点】 挑戦し続けるたくましさの育成
ワクワクするカリキュラム・マネジメント

- 深い学びを実感できる授業への挑戦
- 「なりたい自分」に向かう個の見届け
- 地域と協働・地域社会への発信

【本校の教育課題】

- 豊かな表現力、自己肯定感・有用感、粘り強さの育成
- 幼稚園・中学校との連携を大切に、生活・学習・思春期の確立（メタ認知とレジリエンスの育成）

【児童の実態】

- 仲間と協力して活動できる子どもが多い
- 学年関係なくかかわれる
- 生活リズムが不安定な子、苦手から目を背ける子もいる

【めざす学校像】

- 地域と共に歩む楽しい学校

【めざす教師像】

- 子ども理解に努め、子どもと共に歩む信頼される教師

【保護者・地域の願い】

- 自分の願いや思いを自信をもって伝えられる子
- 元気にあいさつができる子
- 地域の人と一緒に楽しみ、地域に誇りを持ち、地域を大切にする子

【学校の教育目標】

心ゆたかに たくましく 生きる子

【経営の方針】 ☆自分と仲間を理解し、自分から動き、共に笑顔で歩み続ける児童を育てる
～メタ認知につながる心の教育を基盤にした生活の確立・学習の確立・思春期の確立～

【願う子どもの姿＝育てたい資質・能力】

- ◎自分の考えをもち、よりよい判断と自信をもって、自分から笑顔で相手に伝えることができる児童

「自立力」

自ら考え、判断し、行動する力
自分から笑顔で思いを伝える力

【合言葉】 「つたえる」「スマイル」「自分から」

学校と地域の協働の核となる学校運営協議会

《生活の確立》

- ①よりよい生活習慣づくり
 - ・感染症への対応、体力づくり
 - ・家庭との連携
 - ：基本的な生活習慣を身に付ける眠育への取り組み
- ②正しい判断力づくり
 - ・多様な考え方を認める心の教育
 - ・自己決定の場の確立
 - ：正しいことを行う意味と価値を考えさせる体験の重視
- ③思いやりの心づくり
 - ・自分から伝える元気なあいさつ
 - ・相手の良さと困り感が分かり、心から大切に思う姿を笑顔で示す
 - ・関わり合い:W活動、読み聞かせ

《学習の確立》

- ①学ぶ心構えや姿勢づくり
 - ・学習ルールを踏まえた準備の徹底
 - ・学ぶ意欲につながる見通しを持つための予習に挑戦
- ②豊かな表現力づくり
 - ・表現する必然のある場の設定
 - ：疑問が出せる、意見を出したいと思える場の設定
 - 「導入、仲間学び、終末」
 - ・考えを持ち、学びがわかる
 - 「ノートづくりとICT活用」
- ③自分で学ぶ力づくり
 - ・課題を追究し続ける根気と熱意を高める支援
 - ・SDGsと関連付けた取り組み

体験を通して、子どもたちの未来への可能性を広げる

《思春期の確立》

- ①なりたい自分づくり（メタ認知づくり、レジリエンスを高める）
 - ・具体的なイメージづくりの体験活動
 - ・家族・地域からの生き方学び
- ②地域社会の一員としての自覚づくり
 - ・地域行事への積極的な参加
 - ・ふるさと教育の充実